

決裁平成 年 月 日			生活福祉部市民生活環境課					
市長	副市長	部長	課長	課長補佐	係長	課	僚	主任

取扱注意

平成25年7月30日

放射線量の測定結果について（7月30日実施分）

大船渡市内における放射線量について、下記により測定しましたので報告します。

なお、結果については市ホームページ上で公開する予定です。

記

- 1 月 日 : 平成25年7月30日(火)
- 2 天 候 : 晴れ、時々くもり
- 3 測定方法 : 30秒ごと各5回測定による平均
- 4 測定機器 : シンチレーションサーベイメータ TCS-172B (日立アロカメディカル(株)社製)

※平成24年5月2日から同9月12日までと、同11月13日測定分以降は当該機器を使用。平成23年7月27日から平成24年4月25日までと、同9月19日から11月6日までは「環境放射線モニタ Radi (PA-1000)」を使用。

- 5 測定結果 : 別紙のとおり
- 6 測定結果の評価等

(1) 測定結果は、文部科学省による「学校の校舎・校庭等の線量の低減について」に基づき、学校において児童生徒等が受ける線量の目安である **1.0 μ Sv (マイクロシーベルト) / 時**を下回っています。

また、県による「放射線量低減に向けた取組方針」に基づく、**除染等の低減措置実施の目安 (1.0 μ Sv (マイクロシーベルト) / 時) も下回っています。**

(2) 文部科学省・厚生労働省では、自然放射線から受けるもの以外の外部被ばくの放射線量 (外部線量) に関しては、年間 1 mSv (ミリシーベルト) 以下が望ましいとしています。

(3) 別表の年間換算値は、文部科学省・厚生労働省による次の算定方法により算出したものです。

⇨ 別表の年間換算値 = (1)

○文部科学省・厚生労働省による算定方法
(年間線量) mSv / 年 = [(測定値) μ Sv / 時 \times 8時間 + (測定値) μ Sv / 時 \times 0.4 \times 16時間] \times 365日 \div 1000
※ 1 mSv = 1000 μ Sv

(4) 測定値は自然放射線を含んでいることから、測定値からの年間換算値と文部科学省・厚生労働省が望ましいとする年間 1 mSv との関係は、次の数式のとおりとなります。

(望ましい外部線量)		(測定値からの年間換算値)		(自然放射線の世界平均)
年間 1 mSv	\geq	(1)	$-$	年間 0.87 mSv

(5) 今回、最も測定値が高かった日頃市地区公民館（測定高5cm）、鷹生ダム周辺市有地（測定高100cm、5cm）について計算すると、次のとおりとなり、**年間 1 mSv（ミリシーベルト）を下回っています。**

$$0.37 - 0.87 = \text{年間 0 mSv 未満}$$

(6) いずれの測定結果も、**汚染状況重点調査地域指定の目安である、0.23 μ Sv（マイクロシーベルト）/時を下回っています。**

(7) 前回の測定（7月23日実施）から大幅な変化は見られず、**健康に影響を及ぼすような状況にはありません。**

担当
生活福祉部 市民生活環境課 環境衛生係
内線124・125